

下地町来間「来間区」

生産
部門

創造するふるさとづくり (平成14年度認定)



当該地区は、過疎化に悩まされ続けていた。平成7年3月悲願の「夢の架け橋」の完成に伴い、島の再興に向けて、むらづくり推進委員会を立ち上げ住民が一体となってさまざまなむらづくり活動を展開している。

また、島の展望台「竜宮城」からの見渡す「与那覇前浜」の白い砂浜と「エメラルドグリーン」の海は来訪者にとっては最高のおくりものとなっており、来訪者が後を絶たない状況にある。

むらづくり活動をより推進するため、住民協定の「来間島憲法」を制定し、環境美化、景観維持等の徹底を図り、来訪者にも、ゴミ投棄の禁止等の啓発を促し、島の環境美化に努めている。

一方、土地改良事業等を積極的に推進し、生産基盤の整備、農業用水の確保に努め、その結果、付加価値の高い作物の導入が可能となったことや架橋により宮古島と一体となった生活圏、経済圏が確立され、Uターン・Iターンにより着実に人口が増えてきている。

これらを踏まえて、来間集落では農業改良普及センターの支援を受けながら、農業の生産拡大、集落環境整備及び地域特産品の開発等を多面的に推進し、リーダー研修や実証展示圃を設置するなどし、農業粗生産額の増加を図っている。

